



hot topics

## 自治会バス「みはら号」 笑顔を運んで2万人

御原校区の自治会バス「みはら号」が平成27年の運行開始から乗車2万人を達成し、記念式典を開催しました。

「みはら号」は、スーパーが無い御原校区住民の貴重な移動手段として地域のボランティア運転手を中心に運営しています。

ボランティア運転手の柿永さんは「運転手不足が課題。地域活動に興味のある方は力を貸してほしい」と語りました。

- 自治会バス「みはら号」に関する問合せ先  
御原校区コミュニティセンター ☎72-9038



hot topics

## 能登半島地震の被災地へ支援

市は1月1日に発生した能登半島地震の被災地である石川県穴水町へ本市職員を派遣しました。第1陣として2月19日から3月5日まで派遣された防災安全課の新原さんは、家屋被害認定調査に関する業務などに従事。

派遣を終えた新原さんは「発災から約2か月が経過したものの、家屋が倒れたままの町の惨状に言葉を失った。町民・町職員の切実な思いに触れながら、支援業務に邁進する日々だった。この経験を、市の緊急時の備えに還元したい」と語りました。市は、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、引き続き支援していきます。

また市は石川県に対し、200万円の災害見舞金を贈りました。



hot topics

## 食と健康推進フォーラム 県知事優秀賞を受賞

はつらつクラブ(希みが丘区)が、第70回福岡県公衆衛生大会・令和5年度食生活改善大会で健康運動推進実践グループ優秀賞を受賞したことを、同クラブのリーダー5人が市長へ報告しました。

はつらつクラブは平成22年12月の発足以来、毎週木曜日に活動しています。さまざまな運動法を取り入れ、希みが丘区の人たちの健康づくりを継続して行ってきたことが高く評価されました。

鈴木リーダーは、「マナー化しないように、これからも運動を継続していきたい。男性メンバーも募集中」と話しました。



hot topics

## 地域活性化起業人の大住さん 活動の集大成を冊子に

民間企業に籍を置きながら市の地域活性化に取り組んできた「地域活性化起業人」の大住さん。活動の集大成として、「食文化」に関する冊子を作成しました。

活動では、小郡の鴨文化と鴨料理レシピの普及に取り組んだほか、「鴨のまち小郡」の認知拡大に向けたアンケート調査をしたり、観光パンフレットを福岡空港に設置したりするなど、食を通じた魅力発信を中心に、知見やノウハウを生かして活躍してきました。大住さんは、「小郡の鴨料理が多くの人々に届き、小郡市がさらに大きく羽ばたいていくことを願っています」と語りました。

